

2011年の旧居留地及び周辺のイベント情報



◆7月12日(火)～24日(日)
企画展「ガラス書 神戸から東北へ」
神戸らんぶミュージアム

◆7月17日(日)～18日(月)
Kobe Love Port・みなとまつり
メリケンパーク

◆7月16日(土)～9月25日(月)
日本のアニメーション美術の創造者 山本二三展
神戸市立博物館

◆7月26日(火)
元町夜市
神戸元町商店街

◆8月6日(土)
第41回みなとこうべ海上花火大会
メリケンパークほか(観覧場所)

◆8月10日(水)～22日(月)
昭和・メモリアル 与 勇輝 展
大丸ミュージアム<神戸>

◆8月20日(土)
こうべ海の盆踊り2011
メリケンパーク

◆9月2日(金)～12日(月)
岩合光昭写真展「いぬ」
大丸ミュージアム<神戸>

◆11月20日(日)
第1回神戸マラソン
神戸市役所(スタート)

旧居留地連絡協議会 平成23年度組織図

総会	常任委員会	親睦・イベント委員会	防災・防犯委員会	都心づくり委員会	広報委員会	環境委員会	顧問
会長 野澤 太郎 ノザワ	委員長 富岡 良典 トモノリ	委員長 立花 雅規 タチバナ	委員長 太田 泰史 オウダ	委員長 松岡 辰弥 マツオカ	委員長 諫山 一彦 イサヤマ	委員長 吉田 昇 ヨシダ	太田 敏郎 オウダ
副会長 丑嶋 淳 ウツシマ	副委員長 西金 秀紀 ニシキ	副委員長 柴田 太澄 シバタ	副委員長 南 嘉邦 ミナミ	副委員長 柴田 太澄 シバタ	副委員長 李 啓洋 イ	副委員長 遠藤 昭弘 エン	服部 博明 フクベ
副会長 澤田 太郎 サエタ	副委員長 松岡 辰弥 マツオカ	副委員長 本島 重和 ホンジマ	副委員長 山田 俊一 ヤマダ	副委員長 吉田 和男 ヨシダ			山本 俊貞 ヤマモト

東日本大震災の被災者の方々に、心からのお見舞いを申し上げます。
亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたしますとともに、被災者の方々が一日でも早く、日常の生活を取り戻せる事を切に願っております。

旧居留地連絡協議会

親睦・イベント委員会

◆◆平成22年度活動報告◆◆

- ◆第8回親睦ゴルフコンペ／5月19日(水)
富士OGM 12名参加
- ◆初夏収穫体験&バーベキュー大会／
6月19日(土) 神付ふるさと村 30名参加
- ◆納涼会／8月6日(金)
コンチェルト船上 48名参加
- ◆元町ミュージックウィーク協賛／
10月2日(土)・3日(日)・9日(土)・10日(日)
三井住友銀行前 他6会場

◆プロムナードコンサート／
9月25日(土) 三井住友銀行前 4組演奏

◆秋収穫体験&バーベキュー大会／
11月6日(土) 神付ふるさと村 34名参加

◆忘年会／12月7日(火)
オリエンタルホテル 92名参加



プロムナードコンサート



秋収穫体験&バーベキュー大会

◆◆平成23年度活動計画◆◆

- ◆第9回親睦ゴルフコンペ／5月
- ◆納涼会／8月
- ◆親睦行事／6月、10月
- ◆プロムナードコンサート／10月
- ◆元町ミュージックウィーク／10月(土)(日)
- ◆忘年会／12月
- ◆親睦ポーリング大会／24年3月

都心づくり委員会

◆◆平成22年度活動報告◆◆

- (1) 地区内建設計画、店舗計画の聴取、助言
 - ・デビスパーキング ローソン店舗看板
 - ・京町筋ゴンチャロフ 店舗計画
 - ・あいおいニッセイ同和ビル 壁面表示
 - ・朝日ビル サイン計画

- (2) 放置自転車対策
 - ・調査、アンケート
 - ・啓蒙活動
- (3) 広告物ガイドラインの改定準備
 - ・まち歩き、現状確認
- (4) 明石町筋歩道拡幅工事
 - ・旧居留地としての要望
 - ・下水道改修工事等について



明石町筋歩道拡幅後

- (5) ユニバーサルデザインについて
 - ・旧居留地において何が出来るのか検討

◆◆平成23年度活動計画◆◆

- (1) 地区内建設計画等に対する聴取、助言
- (2) 道路環境のあり方の検討 (放置自転車対策等)
- (3) ユニバーサルデザインの検討
- (4) 広告物ガイドラインの見直し、既存不適格の是正推進

新会員募集

●入会のお問い合わせ、お申し込みは、
078-333-2444 大丸神戸店(事務局)／木島・土池)まで

旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町 30 大丸カーポート 7 階
Tel.078-332-0151 Fax.078-332-0052



居留地会議

THE FORMER FOREIGN SETTLEMENT OF KOBE

近代スポーツはぐくんだ外国人居留地 「マラソン大会」も神戸から



日本初の「マラソン」のスタート風景(綾木 守さん所蔵)

11月20日に開かれる神戸マラソンが話題になっています。神戸市役所前をスタートして明石海峡大橋をめざし、橋のふもとで折り返してポートアイランドの市民広場まで。全国から集う2万人の市民ランナーが、阪神・淡路大震災から復興したまちを駆け抜けます。坂道が多い神戸のまちは長距離走とはややなじみが薄い印象がありますが、100年あまり前、日本で初めて「マラソン」と銘打たれた競技大会が開かれたのは神戸でした。マラソンに限りません。サッカー、ラグビー、ゴルフ、馬術など多くの近代スポーツが居留地で貿易などに従事する外国人によって持ち込まれ、国内に広がっていきました。明治の神戸を舞台にした「スポーツ草創物語」をたどると、旧居留地がかつて担った役割の大きさ、多彩な表情をあらためて知ることができます。

ますが、あまり大きくない。それでも、沿道には見物する人が途切れなかったといえます。観衆は初めて目にする長距離耐久走を驚きと感動とともに見守り、声援を送ったことでしょう。

国内初となるスポーツ行事の舞台となった神戸が、おおいに盛り上がったことがうかがえます。当時の市民たちは居留地の外国人を通じて紹介されたさまざまな西洋のスポーツに触れており、マラソンという新しい種目への関心も高かったようです。

1909年(明治42年)3月21日付け大阪毎日新聞は、「本日のマラソン大競争」という大きな見出しで日本初のマラソン大会の開催を伝えました。ほぼ全面をつぶした記事とともに参加20選手の名鑑も掲載しており、主催新聞社として力が入っていることが伝わってきます。

守さん宅親族宅に残る写真を見ると、上下とも白の体操服で頭には鉢巻き、足は地下足袋やわらじ。胸にはたすき掛けしたゼッケンをつけています。その姿はいまとずいぶん違っていても、変わらないレース前の緊張感が伝わってくるようです。

このときのコースは、神戸・湊川埋め立て地(いまの新開地)から大阪の西成大橋(いまの淀川大橋)にいたる約32km。参加選手は400人あまりの中から予選を勝ち抜いた健脚自慢ばかりでした。優勝した金子長之助選手(当時25歳、岡山県出身)の三男、綾木

一斉に飛び出した選手たちは、大通りを東に駆けたのでしょうか。とするなら、外国人居留地の北側を走り抜けたことになります。当時の地形図によれば、海沿いに延びた家並みはいまの岩屋あたりで途切れ、左右には田んぼが広がってきます。街道を大阪に向かって進むと御影、魚崎などの集落があり

「神戸スポーツはじめ物語」(高木應光著、神戸新聞総合出版センター)によれば、もっと古い長距離走の記録が残っています。1872年(明治5年)4月に行われた居留地一摩耶山間の往復競走です。14km弱の距離があり、しかも700m近い標高差を一気に登り降りするという過酷なレースでした。その2年前に誕生したスポーツクラブ、神戸レガッタ&アスレティック・クラブ(KR & AC)の英国人らが参加、クラブの創設に尽力したスコットランド生まれのアレキサンダー・キャメロン・シムがトップでゴールインしました。記録は

1時間24分30秒だったといえます。ひたすら坂道を駆ける姿に、開国から間もない明治の人々は日本にはなかったスポーツの楽しみ方、生活のスタイルを感じ取ったかもしれません。

世界に開いた居留地の外国人によって神戸に伝えられ、ここから日本国内に普及していったスポーツとして、ゴルフはよく知られた例でしょう。

1901年(明治34年)の初夏、英国人貿易商のアーサー・ヘスケス・グルームが六甲山上に4ホールのプライベートコースをつくり、仲間たちとプレーを楽しみました。これが、日本で最初のゴルフ場とされています。2年後には日本初のクラブ「神戸ゴルフ倶楽部」が誕生しました。さらに1904年(明治37年)には、住吉川の河口近くに2番目のゴルフ場がお目見えしました。この創設者もオーストラリア生まれの英国人で、貿易会社の支店長だった人物。いまや日本人にとって身近なスポーツの一つになっているゴルフですが、その国内における源流は神戸にあったのです。

このグルームやシムは、英国が発祥のラグビーも早い時期から楽しんでいたようです。時代は少し戻って1876年(明治9年)12月、2人も名を連ねたKR & ACのチームと神戸に寄港した英国軍艦「モデスト号」チームとのラグビーの試合が行われ、大方の予想に反してKR & ACチームが勝利しました。この3年前に横浜でラグビーの試合があり、神戸でのゲームは国内2例目とされています。それにしても、本国でラグビー協会が設立されてわずか5年後といえます。そんな早い時期に実現した、本場のプレーを伝える対抗戦は港町・神戸が欧州と直結していたことをうかがわせています。



はいわば国内の発祥の地。1888年(明治21年)2月、KR & ACと横浜クリケット・アンド・アスレティック・クラブ(YCAC)との間でインターポートマッチが開催され、2対1でKR & ACがYCACを下しました。KR & ACは、これが国内では最も古いサッカーの対抗試合としています。

このほか、ヨットやボート、テニス、野球、水球、陸上競技など数多くのスポーツ種目が神戸で草創期の歴史を刻んでいます。日本ではあまり広がらなかった英国伝統の球技クリケットも、当時、盛んに行われました。拠点になったのがKR & ACです。いまの東遊園地のあるところが専用のレクリエーション・グラウンド、その南東部にレンガ造りのクラブハウス



が建っていました。グラウンドの造成について、高木さんは当時の英字紙に掲載されたこんなレポートを著書の中で紹介しています。<堤防の樹木はそのまま残し、低い所を整地し芝生を植え、クリケットやフットボールのグラウンドが完成した。さらにローンテニスやその他のゲームが出来る設備も整った。すっかり完成した遊園地は、神戸でもっとも魅力のある美しい広場となった>

居留外国人の社交、余暇活動の場として生まれたKR & ACは、地域にも開かれた存在だったといえます。体を動かし、汗を流す楽

しみは、さまざまな交流の機会を通じて市民の間にも伝わっていったことがうかがえます。昭和30年代になって、KR & ACはフラワーロードをはさんで東側の磯上公園に移転、東遊園地は神戸市民の憩いの場になりました。現在、お昼時などにはサラリーマンたちがミニサッカーやキャッチボールを楽しむ姿があります。その南西の一角にシムのモニュメントがあるのをご存知でしょうか。刻まれた一文を読むと、シムの「PUBLIC WARK」が顕彰されていることが分かります。近代スポーツを日本に伝えたシムは、一方で、いまでいうボランティア活動にも熱心に取り組みました。居留地で結成した自衛消防隊の隊長を務めたほか、1896年(明治29年)に大津波に襲われた東北の三陸海岸など被災地に駆け付け、救援活動に取り組んでいます。自ら実践した支え合いの精神は、さまざまなスポーツ活動を根付かせたKR & ACの取り組みにも通じるものであり、もっと広く知られていいでしょう。

ことし5月、明治期に西洋の息吹を発信する舞台になった東遊園地の北隣り、市役所1号館のちょうど前に、神戸がマラソンの先駆的な地であることを伝える記念碑ができがりました。タタミ大の石にランナー5人の姿がくり抜かれ、「日本マラソン発祥の地 神戸／1909年3月21日 AM11:30」と刻まれています。

11月の神戸マラソンは、ここがスタート地点です。1世紀前に行われた国内初のマラソン大会を思うと、規模は比べようもなく大きくなりました。参加者の年代もさまざまです。各地から集まってきた市民ランナーのみなさんに記念碑が伝える「スポーツ草創物語」を知ってもらい、神戸のまちを走る喜びをさらに膨らませてほしいものです。



旧居留地連絡協議会

平成22年度活動報告と平成23年度活動計画

2011年4月19日(火)、神戸メリケンパークオリエンタルホテルにおいて、平成22年度の定時総会が開催され、昨年度の活動報告及び今年度の事業計画・予算案等が承認されました。



防災・防犯委員会

◆◆平成22年度活動報告◆◆

- ◆防災・防犯委員会／毎月17日 居留地倶楽部にて開催
- ◆防災福祉コミュニティ代表者会議 出席／4月11日(日) 中央消防署
- ◆中央防災福祉フェア事前説明会 出席／5月17日(月) 中央消防署
- ◆市民救命士講習会／6月7日(月) 東京海上日動火災保険／受講者31名／指導・神戸市防災安全公社
- ◆県民運動情報誌「ネットワーク」第125号 知事対談 特集テーマ「地域で防災に取り組もう」／6月23日(水) 兵庫県災害対策センター

- ◆中央防災福祉フェア 参加／6月28日(日) 神戸市立山の手小学校／参加者6名
- ◆市民救命士講習会／8月2日(月) 東京海上日動火災保険／受講者24名／指導・神戸市防災安全公社
- ◆防災福祉コミュニティ代表者会議／10月6日(水) 中央消防署
- ◆旧居留地防災訓練／10月19日(火) 朝日ビル1階ピロティ／参加者42名／指導・中央消防署
- ◆BOKAMIスクールガイド活用研修／11月14日(日) 中央消防署／参加者1名
- ◆防犯講習会／11月6日(金) 朝日ビル13階 アッセンブリールーム／受講者28名 指導・生田警察署
- ◆朝日新聞 取材／12月17日(金) 居留地倶楽部 帰宅困難者支援について

- ◆ひょうご安全の日のつどい1.17 メモリアルウォーク 参加／1月17日(月) 東遊園地よりHAT神戸まで／参加者20名
- ◆旧居留地防災計画 資料・マニュアル編発行
- ◆中央区総合防災訓練／2月6日(日) 神戸市勤労会館7階大ホール／参加者5名
- ◆市民救命士講習会／2月28日(月) 東京海上日動火災保険／受講者17名／指導・神戸市防災安全公社



市民救命士講習会

◆◆平成23年度活動計画◆◆

- ・防災防犯委員会 定例会議(原則毎月)
- ・旧居留地防災訓練 実施
- ・市民救命士講習会 実施(2～3回を予定)
- ・防犯講習会 実施
- ・中央区総合防災訓練 参加
- ・中央防災福祉フェア 参加
- ・1.17メモリアルウォーク 参加
- ・BOKAMIスクールガイド活用研修 受講
- ・旧居留地地域防災計画 資料マニュアル編 改訂

環境委員会

◆◆平成22年度活動報告◆◆

- (1)緑化活動
 - ◆プランターの飾花／大55基、小5基
- (2)クリーン作戦(兼ポイ捨て防止運動)
 - ◆初夏クリーン作戦／5月20日 約182名の参加
 - ◆初秋クリーン作戦／9月16日 約191名の参加
 - ◆冬季クリーン作戦／11月18日 約164名の参加
 - ◆春季クリーン作戦／3月17日 約180名の参加

- (3)アイドリングストップ運動 年2回実施 6月17日、12月16日 大丸駐車場近辺で環境委員がチラシ、花の種、ティッシュを約500セット配布。
- (4)放置自転車・バイク実態調査 実施 5月19日は大雨のため延期ルミナリエに合わせ11月24日に環境委員で実施。自転車467台、バイク153台 計620台。



アイドリングストップ運動

◆◆平成23年度活動計画◆◆

- (1)緑化活動
 - ・プランターに関しては現状維持
- (2)クリーン作戦(兼ポイ捨て防止運動)
 - ・年4回実施
 - ◆初夏クリーン作戦／5月19日
 - ◆初秋クリーン作戦／9月15日
 - ◆冬季クリーン作戦／11月17日
 - ◆春季クリーン作戦／3月15日
- (3)アイドリングストップ運動
 - ・年2回実施 6月16日(木)、12月15日(木)
- (4)放置自転車・バイク実態調査
 - ・年1回実施 ルミナリエに合わせ、市と打ち合わせのうえ、実施

広報委員会

◆◆平成22年度活動報告◆◆

- (1)広報誌「居留地会議」No.31 平成22年7月1日 2,000部発行
- (2)旧居留地連絡協議会 Webサイト運用管理 <http://www.kyoryuchi-club.com/>

- 旧居留地内のサービス全店舗の情報収集、修正、更新を実施。
- ・活動カレンダー更新
- ・フォトアルバム掲載(各活動の撮影)
- ・「神戸旧居留地BLOG」更新。
- ・各種問合せに対応
- (3)神戸旧居留地散策ガイドマップの発行 平成22年10月 テイクアウトできる店にスポットをあてたガイドマップを20,000部発行しました。

◆◆平成23年度活動計画◆◆

- (1)広報誌「居留地会議」No.32発行 平成23年7月1日 2,000部発行予定
- (2)旧居留地連絡協議会Webサイトの更なる活用促進 協議会活動・委員会活動をより充実させるため、会員間の連絡掲示板的な役割でおおいに活用していただけるようPRします。
- (3)旧居留地マップ第3号発行のための調査研究